

ごみ減量・資源化への取組

株式会社 滋賀銀行



「持続可能な環境づくり」
取組内容：
滋賀銀行のCSR経営
～クリーンバンクしがぎん～

会社紹介及びPR

- ・代表者名 : 高橋 祥二郎
- ・本店 : 滋賀県大津市浜町1番38号
- ・業種 : 銀行業

「CSR経営」～クリーンバンクしがぎん～

■ 行是 自分にきびしく 人には親切 社会につくす

(1966年～)

→自己研鑽に励み、お客さまに対しては「知恵と親切」をもって接し、究極は社会に貢献する。

■ CSR憲章 (2007年) キーワードは「共存共栄」

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし」の精神を継承した「行是」をCSRの原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります

<地域社会との共存共栄> 地域とともに歩み、地域社会の発展に努める

<役職員との共存共栄> ESなくしてCSなし CSなくしてCSRなし

<地球環境との共存共栄> 「環境経営」を実践し、地球環境を守る

■ クリーンバンクしがぎん (1999年)

①省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」

②環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による
地域への環境保全活動への働きかけ

③倫理観の強い行員づくり

④透明度の高い情報開示

☆ 資源化削減への取組活動 ☆

役職員一人ひとりの環境意識を高めるとともに、透明度の高い情報開示に努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現を目指しています。

環境経営

当行は経営に環境を取り込んだ「環境経営」を銀行経営の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「エコ・オフィスづくり」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「環境金融」ならびに「環境ボランティア」活動を展開しています。



環境経営サイクルの実現！

(環境金融(本業)→環境ボランティア→エコオフィスづくり)

カーボンニュートラルローン 未来よし(2007年取組開始)



カーボンニュートラルローン 未来よし

■環境対応型融資商品を利用したサービス(2007年～)

- 「太陽光発電システム」等を導入されるローンについては、すでに実施している商品ごとの優遇金利幅に加えて、さらに年0.1%金利を優遇。
- 「太陽光発電システム」導入等で削減されたCO₂排出量が当行が試算し、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ保護、育成、放流事業」に資金を拠出。

「カーボンニュートラルローン 未来よし」の流れ



加減するニゴロブナは、特有な色彩で姿を美しく見せ、繁殖期には雄魚が鮮やかなオレンジ色を身にまとい、一交尾期後にサンプリング(撮影)して繁殖状況を確認します。

琵琶湖の環境と生態系保全の「いきものがたり」活動



ヨシ刈りボランティア(1999年) ~環境保全の大切さを身をもって体験~

- ヨシ苗植えボランティアも2013年から開始。これまでのべ336名参加
- びわ湖の水質保全や魚の産卵、水鳥の休息場所として必要なヨシ群落の保全活動を実施(1999年65名でSTART⇒2015年度617名が参加)

- 環境ボランティアにより刈り取った「ヨシ」を活用した「ヨシ紙名刺」を導入

ヨシ紙名刺1枚 ⇒ びわ湖の水 30ℓを浄化
30ℓ/枚 × 約53.4万枚 = 16,020kℓの水質を浄化



環境を主軸とした「CSRのしがぎん」をめざして ~「三方よし」から「四方よし」へ~



- CSR憲章
- ① 「地域社会」との「共存共栄」
 - ② 「役職員」との「共存共栄」
 - ③ 「地球環境」との「共存共栄」

真の共存共栄を目指して

<現代版「三方よし」>

四方よし = 「売り手よし 買い手よし 世間よし 地球環境よし」

びわ湖はクリーンに、経済はホットに！地球を愛す(ICE)!

環境省認定「エコ・ファースト企業」として、お客さまの環境配慮行動を金融面からサポートし、地球温暖化防止や生物多様性保全に取り組みます。

